



ライブラリ カタログに戻る

COMPAQ

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ
インストールガイド

初版（1999年9月）
製品番号 154060-021
Compaq Computer Corporation

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接的損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本情報はそのままの状態提供されるものであり、Compaq Computer Corporationは、本情報について、いかなる明示、黙示、または一般法上の保証を否認します。また、商品性、特定の目的のための適合性、権限および権利侵害に関する黙示の保証について、ここに一切否認します。

本書には、著作権によって保護された情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Compaq Computer Corporationの書面による承諾なしに複写あるいは複製することはできません。

本書で取り扱っているソフトウェアは、ライセンス契約、または秘密保持契約にもとづいて供給されます。したがってこのソフトウェアは、それらの契約事項にそって使用することが許諾されています。付属のプログラム使用許諾契約書の記載内容をご確認のうえ利用してください。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

©1999 Compaq Computer Corporation
All rights reserved. Printed in the U.S.A.
©1999 コンパックコンピュータ株式会社

Compaq、Deskpro、Fastart、Compaq Insightマネージャ、Systempro、Systempro/LT、ProLiant、ROMPaq、QVision、SmartStart、NetFlex、QuickFind、PaqFax、ProSignia、Neoserver、Netelligent、Systempro/XL、SoftPaq、QuickBlankおよびQuickLockは、米国Compaq Computer Corporationの商標です。

Microsoft、MS-DOS、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。

Xeonは、米国Intel Corporationの商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれています。

Compaq 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ

インストレーション ガイド

初版（1999年9月）

製品番号 154060-021

目次

このガイドについて

表記上の規則	vi
本文中の記号	vii
装置の記号	vii
困ったときは	viii
コンパック のWebサイト	viii
コンパック カスタマーセンター	viii

第1章

はじめに

特長	1-1
Wide Ultra3 SCSIサポート	1-2
PCIローカルバス	1-2
SCSIコネクタ	1-3
SCSI ID	1-3
複数のアダプタのインストール	1-4
SCSI終端	1-4
SCSIケーブル	1-5
SCSIケーブルのコネクタ	1-5

第2章

Compaq 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのインストール

必要な工具	2-1
サーバの準備	2-2
サーバのカバーを開ける	2-2
64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのインストール	2-2
64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの接続	2-3
外部SCSI接続	2-3
内部SCSI接続	2-5
インストールの完了	2-7
ファームウェアの更新とドライバのインストール	2-8

第3章

ファームウェアおよびソフトウェアのインストール

システムROMの更新	3-1
ROMPaqディスクレット	3-1
System ROMPaqの実行	3-2
ドライバのインストール	3-3
Novell NetWare	3-4
Microsoft Windows NT 4.0	3-4
SCO UNIX	3-5

付録A

規定に関するご注意

各国別勧告	A-1
Federal Communications Commission Notice (米国)	A-2
Class A Equipment	A-2
Class B Equipment	A-2
Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo, United States only	A-3
Modifications	A-3
Cables	A-3
Canadian Notice (Avis Canadien) (カナダおよびカナダ、フランス語使用地域)	A-3
Class A Equipment	A-3
Class B Equipment	A-3
European Union Notice (欧州)	A-4

付録B

静電気対策

アースの方法	B-2
--------------	-----

索引

このガイドについて

このインストール ガイドでは、Compaq StorageWorks 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのインストールとアップグレード手順を順番に説明します。



警告: 高電圧による感電の危険を防止するために、この装置のインストールは、必ず、コンパックの正規保守サービス会社にご依頼ください。インストールを開始する前に、コンピュータに付属の安全上の注意事項およびユーザドキュメンテーションを参照してください。

多くのサーバやワークステーションで、危険な高電圧が発生する可能性があります。修理をする場合は、サービス認定を受けたコンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社におまかせください。感電の危険を防止するためにカバーやインターロックが取り付けられている場合は、カバーを取り外したり、インターロックを無効にしたりしないでください。

表記上の規則

このガイドでは、以下の表記規則を採用しています。

キー	Enter や F10 などのキーの名前は、太字で、先頭の文字だけを大文字で表記します。2つのキーの間の正符号(+)は、それらのキーを同時に押さなければならないことを示します。
ユーザ入力	別の字体の大文字で表記します。
ファイル名	イタリック体の大文字で表記します。
メニュー オプション、 コマンド名、 ダイアログ ボックス名	[]で囲み表記します。
コマンド ディレクトリ名 およびドライブ名	すべて大文字で表記します。
タイプ	「タイプしてください」と指示されている場合、キーボードから情報を入力した後に Enter キーを押す必要はありません。
入力	「入力してください」と指示されている場合、情報を入力した後に Enter キーを押します。

本文中の記号

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告: その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。



注意: その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

重要: 詳しい説明や具体的な手順を示します。

注: 解説、補足または興味深い情報を示します。

装置の記号

安全上の注意が必要な装置の各部には、以下の記号が表示されています。



装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。カバー内には、一般のユーザが修理できる部品は入っていません。

警告: 感電を防止するために、このカバーを開けないようにしてください。



これらの記号が貼付されたRJ-45コネクタはネットワーク インタフェース接続用であることを示します。

警告: 感電、火災または装置の損傷を防止するために、電話または電気通信用のコネクタをこのコネクタに接続しないようにしてください。



装置の表面または内部部品の温度が非常に高くなる可能性があることを示します。この表面に手を触れるとやけどをする場合があります。

警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



電源システムにこれらの記号が付いている場合、装置の電源が複数あることを示します。

警告: 感電しないように、電源コードをすべて抜き取ってシステムの電源を完全に切ってください。

困ったときは

問題が発生し、このガイドの情報だけでは解決できない場合、次のところから詳細な情報やその他のヘルプ情報を入手できます。


コンパックのWebサイト

コンパックのWebサイトでは、Compaq StorageWorks 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの情報および最新のドライバやフラッシュROMに関する情報を提供しています。コンパックのWebサイト（<http://www.compaq.co.jp/>または<http://www.compaq.com/>）にアクセスするには、インターネットにログオンする必要があります。

コンパック カスタマーセンター

コンパックのフリーダイヤル（全国どこからでも無料です）のホットラインで、各種の技術的なご質問にお答えしておりますので、ご利用ください。

コンパック カスタマーセンター

電話番号		<small>とってもいいねコンパック</small> 0120-101589
ご利用時間帯		月曜日～金曜日 9:00～12:00 および 13:00～17:00 (祝祭日、コンパック指定休日を除く)

第1章

はじめに

Compaq 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタには、最大15台のSCSIデバイスとサーバのPCI (Peripheral Component Interface) ローカル バス間のインタフェースを提供する1つのLVD (低電圧ディファレンシャル) SCSIチャンネルがあります。このアダプタは、業界標準のインタフェースとプロトコルをサポートします。64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、Wide Ultra3 SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3、Fast-Wide SCSI-2およびFast-SCSI-2デバイスなどのすべてのSCSIデバイスで使用できます。

特長

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの特長は次のとおりです。

- 32ビットのユニバーサルPCIおよび64ビットのユニバーサルPCIをサポート
- 33MHz PCIおよび66MHz PCIをサポート
- 160MB/秒のデータ転送速度を提供するWide Ultra3 SCSI、16ビット、40MHzのバスをサポート
- Wide Ultra3 SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3、Fast-Wide SCSI-2 およびFast-SCSI-2デバイスの自動検出とこれらのデバイスとの通信
- Wide Ultra3 SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3、Fast-wide SCSI-2をサポートする68ピンWide LVD SCSI内部コネクタ1個を装備
- Wide-Ultra SCSI-3、Fast-wide SCSI-2をサポートする68ピンWideシングル エンド (SE) SCSI内部コネクタ1個を装備

- Wide Ultra3 SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3およびFast-Wide SCSI-2をサポートする68ピンWide SCSI外部コネクタ1個を装備
- 低速デバイスをサポートする50ピンNarrow SCSI内部コネクタ1個を装備

Wide Ultra3 SCSIサポート

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、すべてのコンポーネントがWide Ultra3対応の場合、64ビットのPCIバス マスタ動作と最高160MB/秒のSCSIデータ転送速度を提供します。この組み合わせで使用した場合、リソースの共有、データベース サービスおよびハイ パフォーマンスのバックアップ ソリューションなど数多くのネットワーク アプリケーションで高いスループットを可能にします。

さらに、64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、タグ付きコマンド キューイングもサポートします。これを使用することによって、SCSIハードディスクドライブは、複数のコマンドを待ち行列に入れてソートした後、コマンドを同時に実行できます。

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタはANSI SCSI-3規格に準拠し、Wide Ultra3 SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3、Fast-Wide SCSI-2およびFast SCSI-2デバイスをサポートします。このため、64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタだけで数種類の異なるSCSIデバイスをサポートできます。

PCIローカルバス

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタとサーバのプロセッサのインタフェースは、PCIローカルバスです。PCIバスは、アドレスとデータの信号線を多重化した高性能の64ビットバスです。PCIバスは、システム装置と周辺装置間に高速のバス（最大528MB/秒）を提供します。Wide Ultra3 SCSIアダプタなどの周辺装置は、PCIバスの高いI/Oパフォーマンスを最大限に利用します。

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、32ビット/33MHzまたは64ビット/33MHz PCIスロットでの下位互換性があります。

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタはPCIバス マスタ デバイスで、PCIローカルバス仕様のRev.2.1と2.2に準拠しています。

SCSIコネクタ

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタには、次のコネクタがあります。

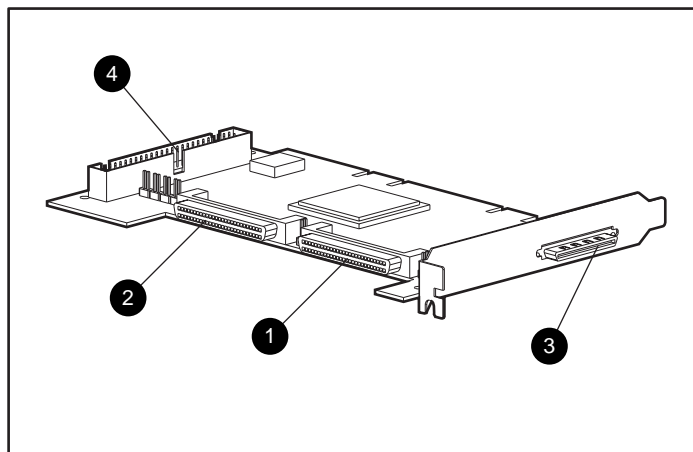


図1-1. 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ

- ① 内部Wide LVD SCSIコネクタ
- ② 内部Wide SE SCSIコネクタ
- ③ 外部Wide LVD SCSIコネクタ
- ④ 内部Narrow SE SCSIコネクタ

外部コネクタは、スタンダードWide SCSIコネクタです。これは、スロットパネルに装着され、サーバの背面からアクセスできます。SCSI外部ケーブルをスタンダードWide SCSIコネクタに固定するためのネジロックが用意されています。

重要: LVD SCSIデバイスをコネクタ2と4に接続したり、SE SCSIデバイスをコネクタ1と3に接続すると、性能が低下します。

SCSI ID

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタには、最大15台の周辺装置をサポートする1つのSCSIバスがあります。SCSIバスに内部コネクタと外部コネクタが装備されています。バスの周辺装置には、6～0と15～8の範囲（6が最も優先順位が高く8が最も優先順位が低い）の固有のSCSI IDを設定しなければなりません。周辺装置のSCSI IDはすべて、デバイス自身のスイッチまたはジャンパを使用して手動で設定しますが、ホットプラグ対応ドライブをサポートするコンパック製品の場合は自動的に設定されます。SCSI IDは、SCSIバスにアクセスしようとするときに周辺装置の優先順位を決定します。サーバは、SCSI-3アダプタのIDを7に設定してアダプタに最も高い優先順位を割り当てます。

複数のアダプタのインストール

2枚以上の64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールする場合、次の点にご注意ください。

- 各アダプタごとに、個別のLVDとSEコネクタをもつ1つのSCSIバスがあります。
- 各アダプタごとに、固有のSCSI IDセット（6から0、15から8）1つをサポートします。バス上の周辺装置ごとに固有のIDを割り当てなければなりません。

SCSI終端

信号の劣化を防止するために、すべてのSCSIバスは、その両端で終端しなければなりません。64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、SCSIバスのアダプタ側を終端させます。ホットプラグ対応ドライブには、リボン ケーブルにターミネータは必要ありません。ターミネータはドライブ バックプレーンに付いています。非ホットプラグ対応内蔵ドライブには、リボン ケーブルにターミネータが必要です。コンパック製サーバ内の個々のSCSIデバイスでバスを終端する必要はありません。

Wide Ultra3およびWide Ultra2には、マルチモード ターミネータまたはLVD専用ターミネータ（Wide-Ultra SCSI-3、Fast-Wide SCSI-2、Fast-SCSI-2で使用されるSE専用ターミネータではなく）が必要です。

外部SCSIバスも終端させなければなりません。この終端は、コンパック製外付ストレージ システム内で提供されます。コンパック製ストレージ システム内の個々のSCSIデバイスでバスを終端する必要はありません。



注意: 起動時にエラー メッセージが表示されないように、サーバのシステム ボード上にある内蔵SCSIコントローラを必ず終端させてください。内蔵コントローラを64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタと交換する場合、終端されたSCSIリボン ケーブルに接続するSCSIデバイスがない場合でも、必ず、このケーブルをシステム ボードに接続したままにしておいてください。

SCSIケーブル

ケーブル接続を必要とするコンパック製サーバ製品には、ケーブルが同梱されています。追加のケーブルが必要な場合、またはケーブルがサーバ製品に同梱されていない場合、最寄りのコンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社にご注文いただけます。外部ケーブルのオプション キットの製品番号は、次の表1-1を参照してください。

表1-1
コンパック製外部ケーブル オプション キットの製品番号

ケーブル オプション キット	製品番号	代りの製品番号
ワイド/VHDCI SCSIケーブル (6フィート)	341176-B21	295644-B21
ワイド/VHDCI SCSIケーブル (12フィート)	341177-B21	295645-B21
50ピンSCSI-3ケーブル(6フィート)	341178-B21	295646-B21
50ピンSCSI-3ケーブル(12フィート)	341179-B21	295647-B21
VHDCI-VHDCI SCSIケーブル (6フィート)	341174-B21	
VHDCI-VHDCI SCSIケーブル (12フィート)	341175-B21	
ワイドSCSI-ワイド SCSI 6フィート	313375-001	
ワイドSCSI-ワイド SCSI 12フィート	313375-002	

注: 内蔵68ピン-50ピンSCSIアダプタ(製品番号199618-001)も販売されています。

必要なケーブルのオプション キットの製品番号がここに示されていない場合、また注文に関する追加情報が必要な場合は、最寄りのコンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社にお問い合わせください。

SCSIケーブルのコネクタ

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをさまざまなドライブ構成のコンパック製サーバにインストールするために必要なSCSIケーブルを識別するには、図1-3を参照してください。

- SCSI内部ケーブルのコネクタはプッシュオン式で、平たいリボン ワイヤケーブルが付いています。

- Wide Ultra2 SCSI、Wide-Ultra SCSI-3、Fast-Wide SCSI-2内部68ピンWide SCSIリボン ケーブルの幅は、Fast-SCSI-2 (50ピンSCSI) ケーブルよりも狭くなっています。
- コンパック製のSCSIケーブルには、取り付け方向を間違えないようにキーが付いています。

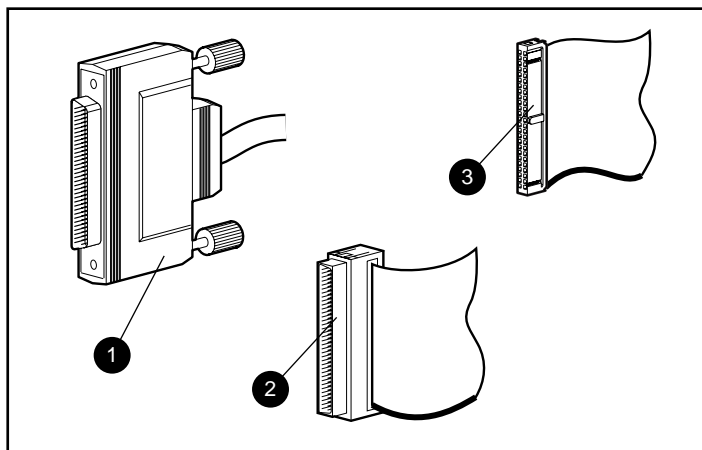


図1-2. SCSIケーブル コネクタの例

- ❶ 外部68ピンWide SCSIコネクタ
- ❷ 内部68ピンWide SCSIコネクタ
- ❸ 内部50ピンNarrow SCSIコネクタ

Compaq 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSI アダプタのインストール

この章では、Compaq 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをコンパック製のサーバにインストールする手順について説明します。



警告: 高電圧による感電の危険を防止するために、この装置のインストールは、必ず、コンパックの正規保守サービス会社にご依頼ください。インストールを開始する前に、コンピュータに付属の安全上の注意事項およびユーザドキュメンテーションを参照してください。

多くのサーバで、危険な高電圧が発生する可能性があります。修理をする場合は、サービス認定を受けたコンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社におまかせください。感電の危険を防止するためにカバーやインターロックが取り付けられている場合は、カバーを取り外したり、インターロックを無効にしたりしないでください。

必要な工具

- トルクス ドライバ (T-15)
- Compaq SmartStart and Support Software CD
- サーバに同梱のマニュアル

サーバの準備

以下の一般的なガイドラインに従って、64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールするためにサーバを準備してください。



警告: ラックに設置されている装置で作業を行う場合、作業を開始する前に装置とラックが安定していることを確認してください。

以下の手順に従って、サーバを準備してください。

1. システムを通常どおりにシャットダウンします。
2. サーバの電源を切ります。
3. サーバに接続されているすべての周辺装置の電源を切ります。
4. コンセントから電源コードを抜き取ったあと、サーバからも抜き取ります。
5. サーバに接続されているすべての周辺装置を取り外します。

サーバのカバーを開ける

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールする前に、サーバのカバーを開けてPCIバス拡張スロットにアクセスしなければなりません。サーバのカバーの開け方とPCIスロットにアクセスする手順については、サーバに同梱されているマニュアルを参照してください。

PCIスロットにアクセスした後、次の「64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSI アダプタのインストール」の項に進んでください。

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのインストール

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをコンパック製サーバにインストールするには、以下のガイドラインに従ってください。



警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内外部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意: 静電気放電 (ESD) によって電子部品が損傷する場合があります。必ず、正しくアースを行ってからこの手順を開始してください。ESDについては、付録Bを参照してください。

1. PCIバス拡張スロットの位置を確認します。これらの各スロットの位置については、サーバに同梱されているマニュアルを参照してください。
2. ご使用のサーバのモデルに応じて、固定ネジを取り外すか、またはPCIスロットを固定している拡張スロットのラッチを開けます。
3. スロット カバーをPCIスロットから取り外します（この保護カバーは、スロットが再度空いた場合に使用するために保管しておいてください）。
4. アダプタをPCIスロットに差し込んでしっかりと押し込みます。必ず、アダプタの端にある接点をシステム ボードのコネクタに完全に押し込んでください。
5. ご使用のサーバのモデルに応じて、固定ネジを元に戻すか、またはスロットのラッチを閉じてアダプタを固定します。

アダプタを他のデバイスに接続するには、次の「64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの接続」の項に進んでください。

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタ の接続

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを外付SCSIデバイス（外部装置内）または内蔵SCSIデバイス（サーバ内）に接続できます。以下では、外部接続と内部接続の両方の場合のケーブルの接続方法について説明します。

重要: 同じSCSIバス上のSCSIデバイスはすべて（CD-ROMドライブを除く）、サーバに内蔵であるか、または外付ストレージ システム内になければなりません。ただし、両方を同時に接続することはできません。内蔵SCSIデバイスと外付SCSIデバイスの両方を使用する場合、タイプごとに別々のポートに接続してください。

外部SCSI接続

サーバに外付けされているSCSIデバイスに64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを接続するには、SCSI外部ケーブルが必要です。

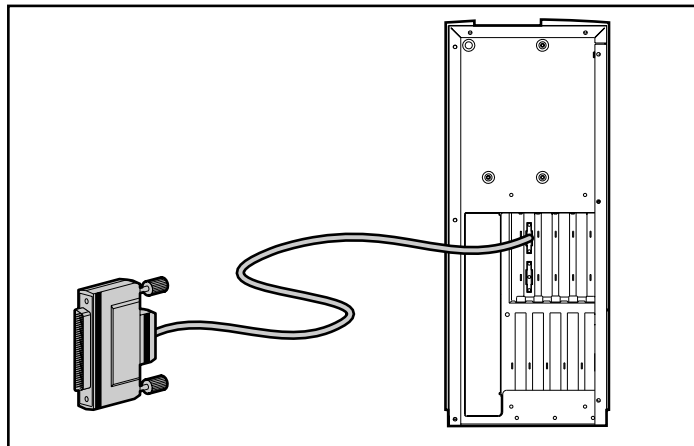


図2-1. コンパック製サーバでのSCSI外部ケーブルの接続

Wide Ultra3 SCSI周辺装置に接続するには、スタンダードWide SCSI-Wide SCSIケーブルを使用します。

このケーブルが、コンパック製外付SCSIデバイスに同梱されていない場合、最寄りのコンパック製品販売店から入手できます。ご使用のサーバに合ったケーブルの注文方法については、第1章の「SCSIケーブル」の項を参照してください。

ケーブルを接続するには、以下のガイドラインに従ってください。

1. 周辺装置に同梱されているマニュアルの指示に従って、ケーブルの該当する側を外付デバイスに接続します。必ず、つまみネジをしっかりと締めてください。
2. ケーブルをアダプタに接続して、つまみネジをしっかりと締めます。

ケーブルの接続が完了したら、この章の「インストールの完了」の項に進んでください。

内部SCSI接続

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを内蔵SCSIデバイスに接続するには、この項の説明を参照してください。最も一般的なケーブルの接続例は、以下のとおりです。

- ハードディスク ドライブまたはその他のデバイスが別々のSCSIバスにある場合
- 内蔵SCSIコントローラを64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタと交換する場合
- 追加の内蔵SCSIデバイスを接続する場合



注意: サーバにWide Ultra3 SCSIアダプタが内蔵されている場合、起動時にエラー メッセージが表示されないように、コントローラを必ず終端させてください。

重要: LVDモード (Wide Ultra3) で動作させるには、リボン ケーブルなどのすべてのコンポーネントがLVD対応でなければなりません。

ハードディスク ドライブまたはその他のデバイスが別々のSCSIバスにある場合

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを使用してサーバ内の1台以上のデバイスに別々のSCSIバスを提供する場合、以下のガイドラインに従ってください。

SCSIバスを追加するには、ご使用のサーバのモデル専用のSCSI内部ケーブルが必要となる場合があります。追加のケーブルが必要かどうかを確認するには、サーバに同梱されているマニュアルを参照してください。ケーブルがシステムに同梱されていない場合、最寄りのコンパック製品販売店から入手することができます。ケーブル オプション キットの製品番号等については、第1章の「SCSIケーブル」の項を参照してください。

1. 新しいSCSIバスに移したいデバイスを既存のSCSIバスから取り外します。
2. SCSIデバイスをインストールします。
3. SCSIケーブルを確認します。ケーブルの一方の端を64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの該当するコネクタに接続します。

重要: 同じポートからのSCSIケーブルを内部コネクタと外部コネクタの両方に接続しないでください。サーバ内でSEデバイスとLVDデバイスの両方を使用する場合、デバイスごとに別々のポートを使用してください。

ケーブルの接続について詳しくは、この章の「64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの接続」を参照してください。

4. 1台以上のデバイスのコネクタをSCSIデバイスまたはバックプレーンのコネクタに接続します。

この章の「インストールの完了」の項に進んでください。

内蔵SCSIコントローラを64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタと交換する

内蔵SCSIコントローラを64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタと交換する場合、次のガイドラインに従ってください。

1. 元のSCSIケーブルをシステム ボードから抜き取ります。
2. SCSIケーブルを64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの該当するコネクタに接続します。

重要: 同じポートからのSCSIケーブルを内部コネクタと外部コネクタの両方に接続しないでください。サーバ内でSEデバイスとLVDデバイスの両方を使用する場合、デバイスごとに別々のポートを使用してください。

ケーブルの接続について詳しくは、この章の「64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの接続」を参照してください。

3. ご使用のサーバまたはワークステーションのモデルによっては、サーバ内の別のコンポーネントにケーブルを留めて固定しなければならない場合があります。内部ケーブルの接続手順については、システムのマニュアルを参照してください。

以上で、64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタは、内蔵SCSIデバイスをサポートします。システム ボード上の内蔵コントローラを使用して他のSCSIデバイスをサポートすることができます。他のSCSIデバイスをサポートするのに内蔵コントローラを使用していない場合は、コントローラは終端してください。

この章の「インストールの完了」の項に進んでください。

追加の内蔵SCSIデバイスを接続する

SCSIデバイスを64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタに接続するには、次のガイドラインに従ってください。この手順を実行するには、64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタに接続するデバイスの種類に適した追加のSCSIケーブルを注文する必要があります。ご使用のサーバに合ったケーブルの注文方法については、第1章の「SCSIケーブル」の項を参照してください。

1. 追加のSCSIデバイスをサーバにインストールします。インストール手順については、システムに同梱されているマニュアルを参照してください。
2. 新しいケーブルを64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの該当するコネクタに接続します。
3. サーバのマニュアルで説明されている手順に従ってケーブルを配線します。
4. ケーブルをSCSIデバイスに接続します。

インストールの完了

ケーブルの配線と接続がすべて完了したら、以下のガイドラインに従ってサーバを元に戻します。

1. すべてのケーブルが正しく配線され、絡んでいないこと、他のコンポーネントにはさまっていないことを確認します。ご使用のモデルのケーブルの接続手順については、サーバのマニュアルを参照してください。
2. 周辺装置をサーバに接続します。
3. 電源コードをサーバに接続した後、アース付きコンセントに接続します。
4. サーバに接続されているすべての周辺装置の電源を入れます。
5. サーバの電源を入れます。
6. Compaqシステム コンフィギュレーション ユーティリティを実行して、システムが新しいSCSIアダプタの設定を認識できるようにします。このユーティリティは、System Configurationディスクレット、Compaq SmartStart and Support Software CDまたはハードディスク ドライブ（起動用のハードディスク ドライブのシステム パーティションにあらかじめインストールされている場合）から実行することができます。

ファームウェアの更新とドライバのインストール

プロセッサと64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタが正しく動作するようにするには、サーバにソフトウェア ドライバをインストールする必要があります。

一部のコンパック製サーバでは、64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタの新機能を活用するためにシステムROMのファームウェアを更新しなければなりません。サーバのROMを最新バージョンにするためにSystem ROMPaqユーティリティを実行することをおすすめします。詳細については、第3章の「システムROMの更新」の項を参照してください。

「第3章 ファームウェアとソフトウェアのインストール」を参照して、ご使用のオペレーティング システムに必要なドライバをインストールしてください。

ファームウェアおよびソフトウェアのインストール

Compaq 64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをサーバにインストールした後で、システムROM（必要な場合）を更新して、オペレーティングシステム用のドライバをインストールしなければなりません。これについては、この章の手順に従ってください。

システムROMの更新

システムROMは、System ROMPaqと呼ばれる特別なコンパック製ユーティリティを使用してROMをフラッシュすることによって更新できます。System ROMPaqは、ROMの現在の内容をディスクファイルに保存された最新バージョンのROMと交換します。System ROMPaqを実行するには、以下の手順に従ってください。

ROMPaqディスクレット

ROMPaqユーティリティは、ディスクレットから実行しなければなりません。64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタのオプションキットに入っているCompaq SmartStart and Support Software CDから最新バージョンのROMPaqディスクレットを作成することができます。オプションキットに入っているROMPaqは、新しい64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをサポートする最新バージョンのROMPaqであるため、最初にこのROMPaqを使用してください。

必要な品目

ROMPaqユーティリティのディスクットを作成するには、以下の品目が必要です。

- Compaq SmartStart and Support Software CD (64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSI アダプタ オプション キットに入っているもの)
- 空のディスクット1枚
- ブート可能なCD-ROMドライブを装備したサーバ

ディスクットの作成

ROMPaqディスクットを作成するには、以下の手順に従ってください。

1. サーバをCompaq SmartStart and Support Software CDから起動します。
2. [Compaqシステム ユーティリティ]画面から[サポート ソフトウェアの作成]を選択します。
3. [Diskette Builder]画面から、ご使用のサーバに合ったオプションを選択します。
4. 画面上の指示に従って、ROMPaqディスクットを作成します。

System ROMPaqの実行

コンパック製サーバのファームウェアを更新するには、System ROMPaqを使用します。64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタはドライブ アレイ機能が拡張されているため、既存の多くのサーバでは、ファームウェアを更新しないとこれらの機能を利用できない可能性があります。ファームウェアの更新時期を判断するのはむずかしいため、64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールするときにすべてのサーバで最新のSystem ROMPaqを実行することをおすすめします。64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタがすでにインストールされているサーバを購入された場合は、サーバをインストールする際にSystem ROMPaqを実行する必要はありません。

System ROMPaqを実行するには、以下の手順に従ってください。

1. System ROMPaqディスクットをサーバのディスクット ドライブに挿入します。
2. サーバの電源を入れて起動します。
3. 初期画面でEnterキーを押します。
4. [Select A Device (デバイスの選択)]画面で、更新可能なデバイスの中から[サーバ]を選択します。この項目だけしかリストに表示されない場合があります。Enterキーを押します。

5. [Select An Image (イメージの選択)]画面に、次のように表示されます。

Device to reprogram:	ご使用のサーバ
Current ROM revision:	既存のROMの日付
Select Firmware Images:	最新のROMの日付

Enterキーを押します。

6. [Caution (注意)]画面の情報をよく読みます。

Device to reprogram:	ご使用のサーバ
Current ROM revision:	既存のROMの日付
Selected ROM revision:	インストールする最新のROMの日付

Enterキーを押してシステムROMを更新するか、または**Esc**キーを押して更新を中止し、[Select An Image (イメージの選択)]画面に戻ります。

7. 次のメッセージは、システムROMが更新中であることを示します。

Reprogramming Firmware

重要: このサイクルを中断しないようにしてください。ROMの更新中に電源をしゃ断すると、ファームウェアは認識されない状態のままになります。この状態になると、サーバを起動できなくなる可能性があります。ROMの更新が完了すると、画面に通知されます。

8. ROMPaqがシステムROMの更新を完了したら、**Esc**キーを押してSystem ROMPaqユーティリティを終了します。
9. System ROMPaqディスクを取り出して、サーバの電源をいったん切ったから、再起動します(コールドブート)。

まだ64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタをインストールしていない場合、ここでインストールできます。ハードウェアのインストールおよびケーブルの接続についての詳細は、このガイドの第2章を参照し、次の「ドライバのインストール」に進んでください。

ドライバのインストール

プロセッサと64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタが正しく動作するようにするには、ソフトウェア ドライバをサーバにインストールしなければなりません。インストールするドライバとその手順は、使用するオペレーティング システムによって異なります。オペレーティング システムに適したドライバが格納されている場所と必要なインストール手順については、この項を参照してください。

ドライバとサポート マニュアルはすべて、64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタに同梱されているCompaq SmartStart and Support Software CDに入っています。ドライバをインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. サーバをSmartStart and Support Software CDから起動します。
2. [Compaqシステム ユーティリティ]画面から[サポート ソフトウェアの作成]を選択します。
3. [Diskette Builder]画面で、次に示すディスクットを作成します。これらのディスクットには、ドライバとドライバをサーバにインストールするために必要なマニュアルが入っています。

Novell NetWare

以下の手順に従って、Novell NetWareオペレーティング システム用ドライバをインストールしてください。

- NetWare 5
- NetWare 4.2
- NetWare 3.2

[Compaq Support Software for Novell Products]を選択して、バージョン5.20A以上のディスクットを作成します。インストール手順については、NSSD.HLPファイルを参照してください。ドライバ ファイルはADPT160M.HAMです。

Microsoft Windows NT 4.0

[Compaq Support Software for Microsoft Windows NT 4.0 (Japanese)]を選択してバージョン2.14以上のディスクットを作成します。インストール手順については、NTREADME.HLPファイル (Windowsヘルプ ファイル) を参照してください。ドライバ ファイルはADPU160M.SYSです。

SCO UNIX

SCO UnixWare 2.1

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを操作するには、SCO UnixWare 2.x用の Compaq Extended Feature Supplement (EFS) バージョン7.28以上が必要です。

SmartStart CDの[Diskette Builder]画面で[Compaq SCO UnixWare 2.1 EFS]を選択して、バージョン7.28以上のEFSディスクットを作成します。SCO "pkgadd" ユーティリティを使用してCompaq EFSをディスクットからインストールします。EFSディスクットには、オンライン マニュアルも入っています。ドライバ名は"adst21"です。

SCO UnixWare 7.x

64Bit/66MHz Wide Ultra3 SCSIアダプタを操作するには、SCO UnixWare 7.x用の Compaq Extended Feature Supplement (EFS) バージョン7.28以上が必要です。

Compaq SmartStartバージョン4.40以上を使用してインストールした場合は、Compaq EFSバージョン7.28はすでにシステムにインストールされています。ドライバをアクティブにする方法については、EFSのマニュアルを参照してください。

SmartStart CDの[Diskette Builder]画面で[Compaq SCO UnixWare 7.0 EFS]を選択して、バージョン7.28以上のEFSディスクットを作成します。SCO "pkgadd" ユーティリティを使用してCompaq EFSをディスクットからインストールします。EFSディスクットには、オンライン マニュアルも入っています。ドライバ名は"adst70"です。

規定に関するご注意

ご使用になっている装置にVCCIマークが付いていましたら、次の説明文をお読みください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCIマークが付いていない場合には、次の点にご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。

Federal Communications Commission Notice (米国)

Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) Rules and Regulations has established Radio Frequency (RF) emission limits to provide an interference-free radio frequency spectrum. Many electronic devices, including computers, generate RF energy incidental to their intended function and are, therefore, covered by these rules. These rules place computers and related peripheral devices into two classes, A and B, depending upon their intended installation. Class A devices are those that may reasonably be expected to be installed in a business or commercial environment. Class B devices are those that may reasonably be expected to be installed in a residential environment (that is, personal computers). The FCC requires devices in both classes to bear a label indicating the interference potential of the device as well as additional operating instructions for the user.

The rating label on the device shows which class (A or B) the equipment falls into. Class B devices have an FCC logo or FCC ID on the label. Class A devices do not have an FCC logo or ID on the label. Once the class of the device is determined, refer to the following corresponding statement.

Class A Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at personal expense.

Class B Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo, United States only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. For questions regarding this declaration, contact:

Compaq Computer Corporation
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, Texas 77269-2000

Or call (281)514-3333

To identify this product, refer to the Series number found on the product.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Compaq Computer Corporation may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods in order to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Canadian Notice (Avis Canadien) (カナダおよびカナダ、フランス語使用地域)

Class A Equipment

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Class B Equipment

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Notice (欧州)

Products with the CE Marking comply with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms (in brackets are the equivalent international standards):

- EN55022 (CISPR 22) - Electromagnetic Interference
- EN50082-1 (IEC801-2, IEC801-3, IEC801-4) - Electromagnetic Immunity
- EN60950 (IEC950) - Product Safety

静電気対策

システムのセットアップを行ったり、部品を取り扱う場合、システムの損傷を防ぐために従わなければならない注意事項があることに注意してください。人間の指などの導電体からの静電気放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するために、以下の注意事項を守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

アースの方法

アースを取る方法はいくつかあります。静電気に弱い部品を取り扱うときは、以下の方法でアースを行ってください。

- 静電気放電用のアース バンドを手首に巻き、アースされたコンピュータ本体に接続します。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アース コードは、少なくとも1M \pm 10%の抵抗のものを使用します。正しくアースされるよう、アース バンドは手首にしっかりと巻き付けてください。
- 据置型のコンピュータを扱うときは、かかとやつま先にアース バンドを巻きます。導電性の、または摩擦による静電気が起こりやすい床で作業するときは、両足にアース バンドを巻いてください。
- 工具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットなどの入った携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がないときは、コンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社にお問い合わせください。

重要: 静電気について詳しくは、コンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社にお問い合わせください。

索引

C

Compaqシステム コンフィギュレーション ユーティリティ 2-7

L

LVD SCSIデバイス 1-3

N

NetWare用ドライバ 3-4

P

PCI 1-2

PCIバス マスタ 1-2

PCIローカルバス 1-2

R

Regulatory Compliance

Canadian Notice (Avis Canadien)
(カナダおよびカナダ、
フランス語使用地域) A-3

European Union Notice (欧州)
A-4

Federal Communications
Commission Notice (米国)
A-2

RJ-45コネクタ vii

ROM

更新 3-1

更新中 3-3

ROMPaq

実行 3-2

ディスクットの作成 3-1、3-2

S

SCO UNIX用ドライバ

UnixWare 2.1 3-5

UnixWare 7.x 3-5

SCSI

タグ付きコマンド キュー
イング 1-2

SCSI ID

アダプタ 1-3

周辺装置 1-3

バスの優先順位 1-3

SCSI接続のガイドライン

SCSIデバイスの接続 2-3

ポートの使用 2-5

SCSIデバイス

Fast-SCSI-2 1-1、1-2

Fast-Wide SCSI-2 1-1、1-2

ケーブル ケーブル参照

コネクタ 1-3

サポート 1-1

終端 1-4

タグ付きコマンド キュー
イング 1-2

SCSIバス

追加 2-5

別々 2-5

SE SCSIデバイス 1-3

System ROMPaq

実行 3-2

ディスクットの作成 3-1、3-2

System ROMPaqの実行 3-2

U

UnixWare 2.1用ドライバ 3-5

UnixWare 7.x用ドライバ 3-5

W

Wide Ultra3 SCSIアダプタ

インストール 2-1

準拠 1-2

接続 2-3

定義 1-1

データ転送速度 1-1

特長 1-1

Windows NT 4.0用ドライバ 3-4

あ

アースの方法 B-2

アダプタの交換 2-6

い

インストール

Wide Ultra3 SCSIアダプタ

手順 2-3

必要な工具 2-1

ドライバ 2-8、3-3

NetWare 3-4

UnixWare 2.1 3-5

UnixWare 7.x 3-5

Windows NT 4.0 3-4

複数のアダプタ 1-4

インストールの完了 2-7

お

オペレーティングシステム

NetWare 3-4

UnixWare 2.1 3-5

UnixWare 7.x 3-5

Windows NT 4.0 3-4

か

外部コネクタ 1-2、1-6

け

警告

インストールの説明 2-1

感電 vii

ケーブル

オプション キットの製品番号

1-5

識別 1-5

終端 1-4

接続 2-4

注文 1-5

特長 1-5

ケーブルの接続 2-4

ケーブルの注文 1-5

こ

更新

システムROM 2-8

ファームウェア 2-8

コネクタ

SCSIケーブル 1-5

外部 1-2、1-6

接続 2-3

内部 1-1、1-5

コンパクト カスタマーセンター

viii

コンパクトのWebサイト viii

さ

サーバ

カバーを開ける 2-2

準備 2-2

サーバのカバーを開ける 2-2

サーバの準備 2-2

し

終端、SCSIデバイス 1-4

準拠 1-2

シングルエンド デバイス

SE SCSIデバイス参照

す

☒

コンパクト製サーバでのSCSI外

部ケーブルの接続 2-4

せ

接続

Wide Ultra3 SCSIアダプタ 2-3

☒ 2-4

外部SCSI接続 2-3

コネクタ 2-3

内部SCSI接続 2-5

そ

装置の記号 vii

速度、データ転送 1-1

ち

注意

SCSIコントローラを終端させる

1-4、2-5

アース 2-2

静電気放電 2-2

つ

追加の内蔵SCSIデバイスを接続

2-7

て

定義

Wide Ultra3 SCSIアダプタ 1-1

ディスクレット、作成

NetWare用ドライバ 3-4

ROMPaq 3-1

UnixWare 2.1用ドライバ 3-5

UnixWare 7.x用ドライバ 3-5

Windows NT 4.0用ドライバ 3-4

ディスクレットの作成

NetWare用ドライバ 3-4

ROMPaq 3-2

UnixWare 2.1用ドライバ 3-5

UnixWare 7.x用ドライバ 3-5

Windows NT 4.0用ドライバ 3-4

必要な品目 3-2

低電圧ディファレンシャル

デバイス LVD SCSIデバイス参

照

データ転送速度 1-1

と

特長 1-1

ドライバのインストール

NetWare 3-4

UnixWare 2.1 3-5

UnixWare 7.x 3-5

Windows NT 4.0 3-4

な

内部コネクタ 1-1

ひ

表記上の規則 vi

ふ

ファームウェア、更新 2-8

複数のアダプタ

インストール 1-4

へ

別々のSCSIバス 2-5

別々のSCSIバスの追加 2-5

ヘルプ

追加情報 viii

ヘルプの入手方法 viii

ほ

本文中の記号 vii